

5年

## たずねびと

香川大学教育学部附属坂出小学校 東 泰右

## 単元の特徴・付けたい力

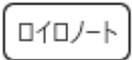
本単元では、人物像を具体的に想像する力を付けることを主なねらいとしている。そこで、「たずねびと」を読んで中心となる人物の人物像を具体的に想像し、「私の考える綾」カードを書いて友達と紹介し合うという言語活動を設定した。子供たちは、物語の中に多様に描かれている綾を「私の考える綾」としてまとめ、そう考えた理由を書いてカードを完成させるために、綾の人物像を具体的に想像していく。

## ICTの活用について

本単元を学習する時点ではまだ平和学習を行っていないことが多い5年生にとって、内容の理解が難しい部分がある。そこで、初読の後にデジタル教科書の動画コンテンツで各種資料を示すことで、子供たちの教材に関する知識を補完するとともに、教材への関心を高める。

登場人物の人物像を具体的に想像する際はまず、デジタル教科書の「マイ黒板」の機能を用いて、場面ごとに、戦争やもう一人の「アヤ」に対する綾の思いが描かれている叙述を抜き出し、整理していく。そして、「マイ黒板」に抜き出した言葉を手掛かりに、綾の人物像を具体的に想像していく。その際は、ロイノートを活用し、自分の考えをカードにまとめる。その後、考えを書いたカードを集約し、1人1台端末で全員の考えを一覧で見られるようにすることで、友達のととの異同を捉えやすくし、交流への意欲を高める。また、交流の際は、学習支援アプリのカードだけでなく、「マイ黒板」に抜き出した叙述も示すようにし、考えやその根拠を示しながら話し合えるようにする。

## 全時学習活動（全6時間）

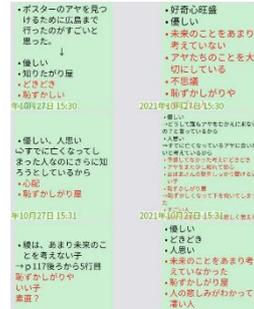
時	主な学習活動
1	「たずねびと」を読んで「綾はどのような人物か」について考える。交流によって、登場人物の人物像の捉え方は多様にあることを確認し、「私の考える綾」カードを書いて友達と紹介し合うという単元のゴールを設定し、学習計画を立てる。
★2～5	「綾が広島に行くまでの場面」「綾が戦争を知らせるさまざまなものに出会う場面」「綾がおばさんと出会う場面」「綾が戦争について自分なりの考えをもつ場面」の四つの場面について、叙述をもとに、戦争やもう一人のアヤに対する綾の思いを捉えていく。そして、捉えたことをもとに、性格や考え方を総合して判断し、「私の考える綾」をまとめていく。  
6	「私の考える綾」カードを書いて友達と紹介し合う。そして、単元導入時の綾に対する捉えとカードの内容を比べることで、登場人物の人物像を具体的に想像しながら読む力が伸びてきていると感じ、本単元の学習を振り返る。

## ★4 時の指導計画例

<p>◇学習活動・指導上の留意点</p> <p>◆ICT・デジタル教科書の活用場面</p>	<p>◆児童の反応</p> <p>□先生の感想</p>						
<p><u>導入：前時の学習を振り返り、本時の学習課題を確認する。</u></p> <p>◇子供と共に立てた学習計画をもとに、これまでの学びと単元のゴールを確認することで、本時の課題に取り組む妥当性を感じられるようにし、課題解決への意欲を高める。</p>	<p>◆「『私の考える綾』カードを書くため」など、単元のゴールを意識している姿が見られた。</p>						
<p><u>展開(1)：「綾がおばあさんに出会う場面」までの綾の人物像を具体的に想像する。</u></p> <p>①「綾がおばあさんに出会う場面（第7場面）」を読む。</p> <p>◆戦争やもう一人のアヤに対する綾の思いが表れている叙述を見つけて抜き出し、「マイ黒板」に整理する。</p> <p>◇手が止まっている子供には、前時までにとまとめた「マイ黒板」を見返すよう助言し、どのような叙述に着目すればよいか見通しをもたせる。</p> <p>②綾の人物像を具体的に想像する。</p> <p>◆「マイ黒板」に整理した叙述をもとに、「戦争やもう一人のアヤに対する綾の思い」をまとめる。そこから「私の考える綾（人物像）」を具体的に想像し、ロイノートカードに考えたことを書く。</p> <p>◇物語全体を通して描かれている戦争というものを綾がどのように捉えているかを考えることを通して、綾の人物像を具体的に想像できるようにした。</p>	<p>◆前時までと同様に、綾の人物像を捉える手掛かりとなる叙述に着目し、「マイ黒板」に整理していった。</p>  <p>◆「マイ黒板」に整理した叙述をもとに、綾の人物像を具体的に想像し、考えたことをカードにとまとめた。</p> <table border="1" data-bbox="901 987 1187 1189"> <thead> <tr> <th colspan="2">⑦綾がおばあさんに出会う場面</th> </tr> <tr> <th>戦争やアヤへの思い</th> <th>わたしの考える綾（人物像）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまで何も考えずに生きていた自分がはずかしい</li> <li>アヤちゃんたちの分まで生きないと</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>亡くなった人たちのことを思って自分のことを反省できる人物</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table> <p>□この場面だけでなく、物語を通しての綾の人物像を想像することができるように、前の場面までに捉えてきた「私の考える綾（人物像）」を見返す時間を設けるとよかった。</p>	⑦綾がおばあさんに出会う場面		戦争やアヤへの思い	わたしの考える綾（人物像）	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで何も考えずに生きていた自分がはずかしい</li> <li>アヤちゃんたちの分まで生きないと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>亡くなった人たちのことを思って自分のことを反省できる人物</li> </ul>
⑦綾がおばあさんに出会う場面							
戦争やアヤへの思い	わたしの考える綾（人物像）						
<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで何も考えずに生きていた自分がはずかしい</li> <li>アヤちゃんたちの分まで生きないと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>亡くなった人たちのことを思って自分のことを反省できる人物</li> </ul>						
<p><u>展開(2)：考えたことを交流し、綾の人物像をさらに具体的なものにする。</u></p> <p>①◆「私の考える綾（人物像）」を書いたカードを集約し、1人1台端末で全員の考えを一覧で見られるようにすることで、友達のととの異同を捉えやすくし、交流への意欲を高める。</p> <p>②綾の人物像について考えたことを交流し、再考する。</p> <p>◆交流後に、考えが深まったり広がったりしたところを赤文字で加筆させ、再度提出させる。</p> <p>◇進んで友達と交流したことで、綾の人物像がさらに詳しくなったことを確認する。</p>	<p>◆綾の人物像をより具体的なものにするために、友達に考えを聞きに行こうと、交流への意欲を高めている姿が見られた。</p>  <p>□交流への意欲を高める手立てとしては有効であった。目的を明確にした上で交流できるように、誰に考えを聞きに行くかを隣の子に伝え合う時間を取ってもよかった。</p> <p>◆考えを書いたカードだけでなく、「マイ黒板」に抜き出した叙述をもとに、考えやその根拠を示しながら話し合う姿が見られた。</p> <p>◆交流によって考えが付加されたり、強化されたりしていた。</p> 						

③全体交流を行う。

- ◆子供が発表する際、その子が書いたカードや根拠となる叙述を大型モニターに映しておく。



- ◆全体交流後に、もう一度カードに加筆している姿も見られた。

まとめ：本時の学習を振り返る。

- ◆ロイロノートのアンケート機能を用いて、「自分から進んで友達のことを聞かせることにしたか」「『私の考える綾』が少しでも詳しくなったか」をそれぞれ2段階で振り返り、そう考えた理由を記述させる。その後、アンケート結果をグラフにして大型モニターに示す。
- ◇進んで友達と交流したことで、綾の人物像がさらに詳しくなったと感じている子が増えたことを二つのアンケート項目の結果を関連付けながら伝え、学び方のよさを称賛する。



- ◆進んで友達と交流したことで、綾の人物像がさらに具体的なものになったと感じたり、本時うまくいかなかったことから、次時の改善点を見いだしたりしていた。
- アンケート結果を視覚的に示したことや、子供の回答を手元に集約して、個別に声掛けをするなど、有効に活用できた。